

# 青年海外協力隊派遣現職教員のサポート | Support for Japanese Teacher Working Overseas

TOP 支援活動 現職教員の活躍 過年度 リンク 問い合わせ

## イベント

### 平成20年度 青年海外協力隊 現職教員特別研修 (派遣前研修)

日時:平成20年  
4月7日(月):一般公開  
4月8日(火):派遣予定教員のみ

#### 場所:

4月7日: JICA地球ひろば  
4月8日:筑波大学東京キャンパス大塚地区

### 平成19年度文部科学省-筑波大学国際教育協力シンポジウム

#### 「開発途上国における派遣現職教員の活躍 - 帰国隊員報告会 -」

日時:平成20年1月5日(土)  
場所:JICA国際協力研修所

### 平成19年度 青年海外協力隊 現職教員特別研修

日時:平成19年4月2~3日  
場所:  
JICA国際協力研修所、  
筑波大学大塚キャンパス

## 平成20年度 青年海外協力隊 現職教員特別研修 (派遣前研修)



## 青年海外協力隊派遣現職教員のサポート | Support for Japanese Teacher Working Overseas

TOP 支援活動 現職教員の活躍 過年度 リンク 問い合わせ

### 派遣現職教員の活躍

平成18年度隊・19年度隊の派遣現職教員の皆さん、活動マップ登録を受け付けています。



### 現職教員の活動マップ

＊＊ 海外で活躍する派遣現職教員の活動の様子と声が見られます ＊＊

活動マップの登録方法

- 1 あなたの姓名・隊次・職種・派遣国・所属先
- 2 任地での活動の様子や活動環境が分かる写真を1枚
- 3 任地での活動や生活についての紹介文(400字以内)
- 4 あなたの開設したホームページ・ブログのURL
- 5 任地の住居または職場の緯度と経度  
(→ 正確な緯度と経度はこちらの[地図](#)を使って調べてください)

1～5を筑波大学教育開発国際協力研究センター派遣現職教員支援担当(鎌田)まで電子メールまたは郵便で送ってください。

!! 派遣先で見られなくても日本でいろいろな人が見れていますよ !!

青年海外協力隊派遣現職教員のサポート | Support for Japanese Teacher Working Overseas

TOP 支援活動 現職教員の活躍 過年度 リンク 問い合わせ

イベント



平成19年度 国際教育協力シンポジウム(帰国隊員報告会)実施報告

プログラム 1

- 吉尾 啓介(文部科学省大臣官房国際課長)
- 大塚 正明(JICA青年海外協力隊事務局長)

プログラム 2: 分科会1

- 1. 千澤 賢太郎(平成17年度隊 養護 ベリーズ) [抄録](#)
- 2. 小野 禎文(平成17年度隊 理数科教師 南アフリカ共和国) [抄録](#)
- 3. 野原 俊之(平成17年度隊 小学校教諭 マーシャル) [抄録](#)
- 4. 中村 希(平成17年度隊 小学校教諭 セントルシア) [抄録](#)

プログラム 2: 分科会2

- 5. 佐野 由美子(平成17年度隊 家政教育 ブルガリア) [抄録](#)
- 6. 斎下 徹(平成17年度隊 養護 パラグアイ) [抄録](#)
- 7. 永井 亜紀子(平成17年度隊 青少年活動 ベトナム) [抄録](#)
- 8. 石郷 則晃(平成17年度隊 コンピュータ ニカラグア) [抄録](#)

プログラム 2: 分科会3

- 9. 小川 建治(平成17年度隊 日本語教師 ミクロネシア) [抄録](#)
- 10. 植松 早苗(平成17年度隊 野菜 モザンビーク) [抄録](#)
- 11. 小木曾 尚子(平成17年度隊 音楽 シリア) [抄録](#)
- 12. 中沢 智恵(平成17年度隊 小学校教諭 ボリビア) [抄録](#)

プログラム 2: 分科会4

- 13. 尾形 美沙子(平成17年度隊 小学校教諭 ヤネガル) [抄録](#)

青年海外協力隊派遣現職教員のサポート | Support for Japanese Teacher Working Overseas

TOP 支援活動 現職教員の活躍 過年度 リンク 問い合わせ

## イベント



### 平成19年度 国際教育協力シンポジウム(帰国隊員報告会)実施報告

#### プログラム 4: 派遣経験を生かした教育活動に関するパネルディスカッション



1. 生田 佳澄 (平成14年度隊 職種:小学校教諭 派遣国:ホンジュラス)



2. 堀口 かえで(平成15年度隊 職種:ソーシャルワーカー 派遣国:ルーマニア)



3. 北原 三代志(平成15年度隊 職種:体育 派遣国:バングラデシュ)



4. 鎌田 和宏(筑波大学附属小学校)



5. ディスカッション



6. 田中統治(筑波大学大学院人間総合科学研究科、附属小学校校長)

Map of East Asia showing various cities in China, Japan, and Southeast Asia. A red pin is placed in Sendai, Japan, with a callout box containing a photograph of a large brick building. The callout box text reads: 筑波大学教育開発国際協力研究センターです. The map includes navigation controls on the left and a legend at the top right with options: 地図, 航空写真, 地図+写真. A small inset map in the bottom right shows the location of the main map area.

**地図** **航空写真** **地図+写真**

19年度1次隊33 小学校教諭 K-S先生 カメルーン エボロワ

～最高の笑顔の子どもたちに囲まれて～  
 “子どもらしい子どもたち”と出会えた。そのまぶしい笑顔の中で日々、活動ができることをとても感謝している。私は、日本の援助で建設した3つの小学校で情操教育(道徳、体育、図工、音楽)の技術指導や現地教員へスキル伝達の仕事をしている。教職経験が思うように生かされないのが本音。この国の文化や人々を尊重しつつ、難しいフランス語に加え、体育を教えようにもボールすらない。ひとクラス100人の子どもたち。弟をひざにのせながら勉強するお姉ちゃん。のりやはさみ、もちろん給食もない。そんな中、まずは掃除指導となわとび、ハードル、ゴール等の教材を手作りでこしらえている。毎日、突然の豪雨が体を冷やす。肌をジワジワと焼きつける太陽。家に帰るとネズミ、ゴキブリ、アリと同居。体力は消耗するが食べたい物が無い。とはいえ、わずか2年間で『しなければならない活動は何か』。慣れない生活のせいりこしている暇もない。とにかく、素敵な笑顔の子供たちと、日々カメルーン奮闘記を楽しんでいるよ。

POWERED BY Google

地図データ ©2005 AND, Geocentre Consulting, Basarsoft, Tele Atlas, Europa Technologies



利用規約 利用方法 データ登録 English

# 「国際協カイニシアティブ」ライブラリ

CRICED University of Tsukuba

- ライブラリについて
- 最新のデータ
- カテゴリー一覧
- キーワード検索
- その他の検索


[詳細キーワード検索](#)


文部科学省による国際教育協力のための「国際協カイニシアティブ」の成果が収められています。教員研修や教員養成に関する資料、カリキュラムや学校経営に関する資料、様々な教科に関する教材や指導案など、国際教育協役に役立つ資料を検索することができます。

### Service

- [最新のデータ](#)
- [カテゴリー一覧](#)
- [キーワード検索](#)
- [詳細キーワード検索](#)
- [その他の検索](#)
- [テーマごとの検索](#)
- [日本の国際教育協力](#)
- [日本の教育](#)
- [世界の動き](#)
- [課題ごとの検索](#)
- [ファイルからの検索](#)

### Notice

**重要！利用規約**  
最初にお読みください

### How to

[ライブラリのご利用方法](#)

### About

[教育支援の世界的潮流](#)  
[「国際協カイニシアティブ」教育協力拠点形成事業とは](#)

使ってみよう！「国際協カイニシアティブ」ライブラリ

- 2007年8月 [研修用教材『日本の教育制度と教育実践』](#)

[リンク](#) | [ご意見・お問い合わせ](#)

拠点システム中核センター  
筑波大学教育開発国際協力研究センター (CRICED)

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 Tel: 029-853-7287 Fax: 029-853-7288  
E-mail: [e-archives@criced.tsukuba.ac.jp](mailto:e-archives@criced.tsukuba.ac.jp) URL: <http://www.criced.tsukuba.ac.jp/>



「国際協カイニシアティブ」ライブラリ

利用規約 利用方法 データ登録 English

CRICED University of Tsukuba

ライブラリについて 最新のデータ カテゴリー一覧 キーワード検索 その他の検索

検索 詳細キーワード検索

## 拠点システムアーカイブス利用規約

平成16年9月1日制定

### 第1条(総 則)

初等中等教育分野等の協力強化を目的として文部科学省が実施する拠点システム構築事業で得られた成果等は、筑波大学教育開発国際協力研究センター(CRICED)の「国際教育協力拠点システムアーカイブス (e-Archives)」(以下「アーカイブス」という)によって国内外の教育協力関係者に無償で公開される。本規約は、一般利用者がアーカイブスを利用するにあたり必要な事項を定めたものである。

### 第2条(目 的)

アーカイブスは、文部科学省が実施する拠点システム構築事業の情報発信機能を担う。拠点システム構築事業で得られた成果等を登録する環境並びに登録された成果等を国内外の教育協力関係者に無償で公開する環境を提供し、途上国に対する教育協力を資すること及び学術研究の用に供することを目的とする。

### 第3条(用語の定義)

本規約において、次の各号に掲げる用語の意義は、当該各号に定めるところによる。

1. 一般利用者  
インターネットを通してアーカイブスが提供する情報を検索し閲覧する者を「一般利用者」という。
2. アーカイブス管理者  
アーカイブスの管理・運用を統括及び実施するものを「アーカイブス管理者」という。







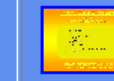
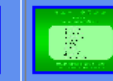





日本の教育制度と教育実践  
-研修のためのヴィジュアル教材-



( ENGLISH )

パワーポイントCD




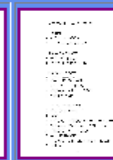
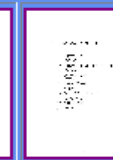
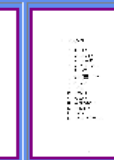
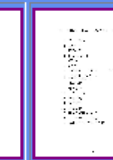
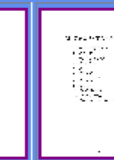
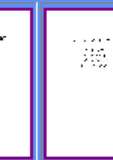
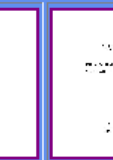
								
I 日本の学校制度の概要	II 日本の教育行財政	III 日本の社会教育の概要	IV 教育課程の編成と実施	V 学級経営・生徒指導	VI 学校経営	VII 学校と地域・保護者との連携	VIII 教員資格・養成・任用・研修	IX 学校の生活と文化

日本の教育制度と教育実践  
-研修のためのヴィジュアル教材-



( ENGLISH )

教材解説書

									
I 日本の学校制度の概要	II 日本の教育行財政	III 日本の社会教育の概要	IV 教育課程の編成と実施	V 学級経営・生徒指導	VI 学校経営	VII 学校と地域・保護者との連携	VIII 教員資格・養成・任用・研修	IX 学校の生活と文化	索引・表紙

この教材に関する質問・意見はこちらへどうぞ  
[kamada@criced.tsukuba.ac.jp](mailto:kamada@criced.tsukuba.ac.jp)

筑波大学教育開発国際協力研究センター (CRICED)  
 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1



①②学校に集合・出発 ③水族館 ④県庁ビル ⑤昼食 ⑥学校へ ⑦水族館(遠足の班で行動する) ⑧水族館 ⑨水族館 ⑩県庁 ⑪県庁(ビデオの視聴) ⑫県庁(県議会)  
集合・出発・開始・終了などの時間を厳守している。遠足により、地域の特色や現代社会・文化の特色を理解させる。

①校門 ②開会式(1年生)  
③応援合戦 ④団体競技(大玉ワッショイ・全学年)  
児童生徒全員が参加している。

①徒競走(1年生) ②昼食  
③保護者の参加する競技(5・6年生親子) ④開会式  
児童生徒ばかりでなく両親や地域の人々、幼稚園の幼児、老人等も参加する一種の地域行事となっている。

①学年ごとに男女別でスタート ②走るコースは学校の外  
③保護者の応援 ④順位と時間を記録する  
⑤休み時間に校庭で練習する

①学校に集合して出発 ②登山 ③青年の家に到着(青年の家→Ⅲ-25、26、27、28、29)  
④入所式 ⑤キャンドルファイヤー

①学校に集合し出発 ②国会議事堂見学 ③船の博物館見学  
④旅館に到着 ⑤旅館で夕食 ⑥就寝の準備  
特色のある社会施設・設備を見学するとともに、集団規律を身につける。

6

「Ⅸ 学校の生活と文化」

前のスライド

次のスライド

ENGLISH

# 運動会 1 (学校の行事)



(X-9)

(2014年9月) 6

①校門 ②開会式(1年生)  
 ③応援合戦 ④団体競技(大玉ワッショイ・全学年)  
 児童生徒全員が参加している。

この教材に関する質問・意見はこちらへどうぞ

kamada@criced.tsukuba.ac.jp

筑波大学教育開発国際協力研究センター(CRICED)  
 〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1

2		<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 序言</li> <li>2. 戦前の複級型(分級型)</li> <li>3. 戦後の単級型</li> <li>4. 戦後の複級型</li> <li>5. 戦後の単級型</li> <li>6. 戦後の複級型</li> <li>7. 戦後の単級型</li> <li>8. 戦後の複級型</li> <li>9. 戦後の単級型</li> <li>10. 戦後の複級型</li> <li>11. 戦後の単級型</li> <li>12. 戦後の複級型</li> <li>13. 戦後の単級型</li> <li>14. 戦後の複級型</li> <li>15. 戦後の単級型</li> <li>16. 戦後の複級型</li> <li>17. 戦後の単級型</li> <li>18. 戦後の複級型</li> <li>19. 戦後の単級型</li> <li>20. 戦後の複級型</li> </ul>	<h1>I 日本の学校制度の概要 (解説書)</h1> <p><a href="#">ダウンロード</a></p>	3
4	<p>日本の学校制度は、戦前の複級型(分級型)から、戦後アメリカの影響を受けた教育改革により、単級型に転換した。この学校体系を「6・3制」というのは、単に義務教育年限を6年から9年(6+3)に延長したというだけではなく、初等教育学校と中等教育学校が単級型として接続したことを意味している。</p> <p>だが日本社会の発展、高度化により、非義務教育学校への進学率が飛躍的に増大し(教育爆発)、画一的な学校制度では学習者の実態に対応できなくなり、高等専門学校や中等教育学校の設置等、単級型学校制度を一部修正する制度改革も進められてきた。</p> <p>日本は制度の法定主義が徹底し、現在学校教育法1条に規定する10種の学校が「正系」の学校とされている。だが生涯学習社会に向けた学校の制度改革が進められ、社会教育、学校外教育との連携や「融合」が課題となり、それに向けた教育における規制緩和や制度運用の弾力化が進められている。</p>			5
6	<p>「単級型」としての日本の学校体系を图示したもの。</p> <p>基本は小学校→中学校→高等学校→大学(6・3・3・4)という単級型となっているが、高等専門学校(1951年)、中等教育学校(1998年)の制度化によって修正された。だがそれをもって「複級型」になったとはいえず、学習者の選択幅を多くし、学校系統の多様化が図られたといえる。</p> <p>またこの学校体系に関わって就学前教育における教育機関としての幼稚園と保育施設としての保育所の一元化や、義務教育後学校における「飛び級」制度の導入等の在り方が問われている。</p> <p>幼稚園は、「幼児を保育し、適当な環境を与えて、その心身の発達を助長することを目的」とする幼児のための文部科学省の所管する「教育施設」であり、3歳児から5歳児を対象としている。学校の設置は国、地方公共団体、学校法人のみと認められているが、幼稚園については、当然の間、それ以外に宗教法人や個人についても認められている。</p> <p>就学前の乳児又は幼児を対象として、厚生労働省が所管する福祉施設が「保育所」である。</p> <p>日本の現行制度では、就学前の子どもに対して、その年齢、保育時間、保育内容、教員資格、そして所管庁と、幼稚園と保育所が二元化</p>			7

複級型学校制度は、歴史的には社会的にも最高度な学問・研究の場たる「大学」(最高学府)から、その予備門(文法学校)へと、「上から下へ」構築された系統と、近代になって庶民を対象に読み書き等の基礎教育を行う学校とが並立するものを指している。これに対して単級型学校制度は、この下層型学校系統と上層型学校系統が統一されたものを指し、複級型学校系統が貴族社会、階級社会をもつヨーロッパに認められたのに対して、アメリカ合衆国を典型としている。

19世紀末から20世紀初頭にかけて、教育の民主化を求める声が大きくなり、複級型学校系統から単級型学校系統への転換が統一学校運動として展開されたが、最初は初等教育段階のみが一歩化され、その移行段階として両系統の中間形態として分級型学校系統をもつに至った。その後、中等教育段階に移り、義務教育制度が前期中等教育段階も含めて確立され、単級型学校系統へと移行してきたが、義務教育と高等教育を繋ぐ後期中等教育学校の在り方が、その系統性と段階性が問われている。

日本の幼稚園、小学校、中学校、高等学校

# CRICED

筑波大学  
教育開発国際協力  
研究センター  
Since 2002/12/17

>> English

# CRICED

*Center for Research on International Cooperation  
in Educational Development  
University of Tsukuba*

## 筑波大学教育開発国際協力研究センター

- ホーム
- 概要・組織
- スタッフ等
- 研究活動
- シンポジウム
- ニュース
- リンク
- English
- e-mail

本センターでは、途上国の教育の実情把握に努めつつ、地域のニーズに合致した教育開発協力モデルの研究、途上国の必要性に対応し得る日本の発信型教育協力の研究、ならびに現職教員の受入れ研修と日本人専門家の派遣事前研修などに力を置いています。特に、教育の制度や経営、障害児教育、数学/科学教育、情報教育、教材開発などの教育内容・方法に踏み込んだ開発協力研究を推進しています。

### ★ 最新・更新情報 ★

- 最新・更新情報

**概要・組織**： CRICED の設立背景や活動概要、組織構成を紹介しています。

**スタッフ等**： CRICED のスタッフや運営委員会、学内・学外研究員を紹介しています。

**研究活動**： CRICED における様々なプロジェクト等、研究活動、研究成果等を紹介しています。

**シンポジウム**： CRICED の関わってきた国際教育協力に関するシンポジウムのご案内及び記録を紹介しています。

**ニュース**： 大学広報誌である「速報つくば」での掲載記事や、CRICED の発行しているニュースレターをまとめました。活動状況等がわかります。